

作成日： 2025年08月30日

工事番号： 032794602 (1)

建設業許可番号：熊本県知事許可 (特定) 第008941号

三愛建設工業株式会社 殿

一般財団法人 日本建設情報総合センター



コブリス・プラス 登録済確認書 計画

本確認書は、下記の工事が 2025年08月30日 現在、コブリス・プラスに確かに登録されていることを確認するものです。

コブリス・プラスとは、「建設副産物情報交換システム」に対応します。

記

工事概要

発注機関	熊本市 上下水道局
請負会社名	三愛建設工業株式会社
会社所在地	熊本県熊本市西区小島9丁目18番36号
工 事 名	都市計画事業 大和広住汚水幹線枝線外下水道築造工事(5338工区)
工事場所	熊本県熊本市北区植木町滴水
工 期	2025年8月20日 ~ 2026年3月17日
請負金額	6,393万円(税込)
債務負担工事	非該当

工事概要等

【北区 植木町 滴水地区】
管きょ工(埋込管布設工 150)m175.8
マンホール工(組立1号 3箇所 小型埋込 6箇所)箇所9
取付管及びます工箇所4
取付管(鋼製土や管継ぎ)及びます工(横小立坑)箇所2
立坑工(軽量鋼板立坑 1500×1500)箇所1
付帯工式1
管きょ工(低耐荷力泥水式推進工 VP 200)m72.0
立坑工(ライクプレート立坑 2000 1箇所 1500 1箇所)箇所2
マンホール工(組立1号 2箇所)箇所2
付帯工式1
【中央区 本島町 地区】
管きょ工(埋込管布設工 250)m81.0
マンホール工(組立1号 2箇所 小型埋込 2箇所)箇所4
取付管及びます工箇所5
付帯工式1
【北区 植木町 滴水地区】
管きょ工(埋込管布設工 150)m22.0
マンホール工(小型埋込 2箇所)箇所2
取付管及びます工箇所3
付帯工式1

・以下のチェック結果については、受発注者間で合意している内容として確認済みのものです

当社が確認した要確認事項

[illegible]

様式1・イ 再生資源利用計画書 - 建設資材搬入工事用 -

「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第11条通知別表」対応版

1. 工事概要

発注機関名	熊本市 上下水道局	発注機関コード*1 431023	発注担当者チェック欄		法人番号	7330001001899														
			担当者	西原太陽	請負会社名	三愛建設工業株式会社														
			TEL	096-381-6117	建設業許可 または 解体工事業登録	熊本県	大臣 知事	特定008941号	請負会社コード*2 81000											
				会社所在地	熊本県 熊本市西区 小島9丁目18番36号					TEL	096-329-3331					記入年月日	令和 7年 8月 28日			
										Email	hirashima@sanai-kk.jp					工事責任者	平島祐次			
																調査票記入者	平島祐次			

表面

工 事 名	都市計画事業 大和広住汚水幹線枝線外下水道築造工事（5338工区				工事種別コード*3 H	請負金額	千 百 十 千 百 十 億 億 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 6393 万円 （税込み）				左記金額のうち特定建設資材廃棄物の 再資源化等に要した費用 千 百 十 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 万円 （税込み）				再資源化等が完了した年月日 年 月 日	建築・解体工事のみ 右欄に記入して下さい	再資源化等が完了した年月日 年 月 日
工事施工場所	熊本 都 道 熊本市北 市 区 植木町滴水				住所コード*4 43105	工 期	令和 7 年 8 月 20 日から 令和 8 年 3 月 17 日まで										
工事概要等					施工条件の内容 （再生資源の利用に関する特記事項等）												

解体工事については、建築面積を御記入いただくなくても結構です。

2. 建設資材利用計画

建 設 資 材 （新材を含む全体の利用状況）					左記のうち、再生資材の利用状況							（再生資材を利用した場合に記入してください）			再生資源
分 類	小分類 コード*5	規 格	主な利用用途 コード*6	利 用 量（A） 小数点第三位まで	再生資材の名称 コード*7	再生資材利用量（B） 小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*8	施工条件 内容 コード*9	再生資材の供給元場所住所	住所コード *4	利用率 B/A×100			
特定建設資材	コンクリート			トン		トン						%			
				トン		トン						%			
		合 計			トン		トン					%			
	コンクリート 及び鉄から成 る建設資材			トン		トン						%			
				トン		トン						%			
		合 計			トン		トン					%			
	木 材			トン		トン						%			
				トン		トン						%			
		合 計			トン		トン					%			
	アスファルト ・コンクリート	2	13mm	1	53.860 トン	2	31.885 トン	昭和瀝青工業株式会社 熊本営業所	4	1	熊本県熊本市北区植木町岩野1405	43105	59.2 %		
2		13mm	1	34.470 トン	2	20.530 トン	有限会社 熊本リサイクルセンター	6	1	熊本県上益城郡嘉島町上島2965-1	43442	59.6 %			
合 計			88.330 トン		52.415 トン					59.3 %					
その他の建設資材	土 砂	10		2	210.040 締めm3		0.000 締めm3					0.0 %			
					締めm3		締めm3					%			
		合 計			210.040 締めm3		0.000 締めm3					0.0 %			
	砕 石	1	40mm	1	30.110 m3	1	15.055 m3	有限会社 田辺工業所	6	1	熊本県玉名郡玉東町浦田124	43364	50.0 %		
		1	40mm	3	3.480 m3	1	1.740 m3	有限会社 田辺工業所	6	1	熊本県玉名郡玉東町浦田124	43364	50.0 %		
		合 計			125.790 m3		74.769 m3					59.4 %			
	塩化ビニル管 ・継手				トン		トン					%			
					トン		トン					%			
		合 計			トン		トン					%			
	石膏ボード				トン		トン					%			
					トン		トン					%			
		合 計			トン		トン					%			
	その他の 建設資材				トン		トン					%			
					トン		トン					%			
		合 計			トン		トン					%			

コード*5
コンクリートについて
1.生コン（バージン骨材）
3.再生生コン（C○再生骨材M）
5.再生生コン（C○再生骨材L）
7.無筋コンクリート二次製品（リユース品）
9.再生無筋コンクリート二次製品（C○再生骨材）
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品（バージン骨材）
3.再生有筋コンクリート二次製品（C○再生骨材）
木材について
1.木材（ボード類を除く）
2.木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.粗粒度アスコン
2.密粒度アスコン
3.開粒度アスコン
4.改質アスコン
5.加熱アスファルト安定処理路盤材
土砂について
1.第一種建設発生土
2.第二種建設発生土
3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土
6.浚渫土
7.土質改良土
8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂
10.山砂、山土などの新材（採取土、購入土）
砕石について
1.クラッシャーラン
2.粒度調整砕石
3.鉱さい
4.単粒度砕石
5.ぐり石、割ぐり石、自然石
6.その他
塩化ビニル管・継手について
1.硬質塩化ビニル管
2.その他
石膏ボードについて
1.石膏ボード
2.シーリング石膏ボード
3.強化石膏ボード
4.化粧石膏ボード
5.石膏ラスボード
6.その他
その他の建設資材について
（利用量の多い上位2品目を具体的に記入して下さい）

コード*6
アスファルト・コンクリートについて
1.表層
2.基層
3.上層路盤
4.歩道
5.その他（駐車場舗装、敷地内舗装等）
土砂について
1.道路路体
2.路床
3.河川築堤
4.構造物等の裏込材、埋戻し用
5.宅地造成用
6.水面埋立用
7.ほ場整備（農地整備）
8.その他
砕石について
1.舗装の下層路盤材
2.舗装の上層路盤材
3.構造物の裏込材、基礎材
4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.水道（配水）用
2.下水道用
3.ケブル用
4.農業用
5.設備用
6.その他
石膏ボードについて
1.壁
2.天井
3.その他
その他の建設資材について
（利用用途を具体的に記入して下さい）

コード*7
コンクリートについて
1.再生生コン（C○再生骨材H）
3.再生生コン（C○再生骨材L）
5.その他（駐車場舗装、敷地内舗装等）
7.再生無筋コンクリート二次製品（C○再生骨材）
9.再生有筋コンクリート二次製品（C○再生骨材）
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1.有筋コンクリート二次製品（リユース品）
3.再生有筋コンクリート二次製品（C○再生骨材）
木材について
1.再生木材（ボード類を除く）
2.再生木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1.再生粗粒度アスコン
2.再生密粒度アスコン
3.再生細粒度アスコン
4.再生開粒度アスコン
5.再生改質アスコン
6.再生アスファルトモルタル
7.再生加熱アスファルト安定処理路盤材
8.その他
土砂について
1.第一種建設発生土
2.第二種建設発生土
3.第三種建設発生土
4.第四種建設発生土
5.浚渫土以外の泥土
6.浚渫土
7.土質改良土
8.建設汚泥処理土
9.再生コンクリート砂
砕石について
1.再生クラッシャーラン
2.再生粒度調整砕石
3.鉱さい
4.その他
塩化ビニル管・継手について
1.再生硬質塩化ビニル管
2.その他
その他の建設資材について
（利用量の多い上位2品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい）

コード*8
再生資材の供給元について
1.現場内利用
2.他の工事現場（内陸）
3.他の工事現場（海面）
4.再資源化施設
5.土砂ストックヤード
6.その他

コード*9
施工条件について
1.再生材の利用の指示あり
2.再生材の利用の指示なし

様式2・ロ

再生資源利用促進計画書 - 建設副産物搬出工事用 -

1. 工事概要 表面（様式1）に必ずご記入下さい

2. 建設副産物搬出計画

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

建設副産物の種類		発生量 (掘削等) = + + 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について												再生資源利用 促進率 --+-+-- (%)
			現場内利用			減量化	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上に わたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかに 付けて下さい	施工条件の 内容 コード*12	搬出先場所住所	住所コード *4	運搬距離 千・百・十	搬出先 の種類 コード *13	現場外搬出量		うち現場内 改良分 小数点第三位まで	再生資源 利用促進量		
			用途 コード *10	利用量 小数点第三位まで	うち現場内 改良分 小数点第三位まで	減量法 コード *11								減量化量 小数点第三位まで	小数点第三位まで			小数点第三位まで	
資材建設 特定建設 廃棄物	コンクリート塊	19.200 トン	0.000 トン	0.000 トン			搬出先1 昭和澁青工業株式会社 熊本営業所	公共 民間	3	熊本県熊本市北区植木町岩野1405	4:3:1:0:5	7:km	5	19.200 トン	19.200 トン	19.200 トン	100.0 %		
	建設発生木材A (柱、ボードなど大断面積材が 廃棄物となったもの)	トン	トン	トン			搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%		
	搬出先2						搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%		
	アスファルト・ コンクリート塊	87.200 トン	0.000 トン	0.000 トン			搬出先1 昭和澁青工業株式会社 熊本営業所	公共 民間	3	熊本県熊本市北区植木町岩野1405	4:3:1:0:5	7:km	4	52.600 トン	52.600 トン	87.200 トン	100.0 %		
		トン	トン	トン			搬出先2 有限会社 熊本リサイクル	公共 民間	3	熊本県上益城郡嘉島町上島2966	4:3:4:4:2	9:km	5	34.600 トン	34.600 トン	トン	%		
建設 廃棄物	その他がれき類	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%		
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%		
	建設発生木材B (立木、除根材などが 廃棄物となったもの)	トン	トン	トン			搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%		
			トン	トン			搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%		
	建設汚泥	39.000 トン	0.000 トン	0.000 トン	2	0.000 トン	搬出先1 株式会社 前田カッター	公共 民間	3	熊本県上益城郡益城町小谷97	4:3:4:4:3	3:2:km	5	21.900 トン	21.900 トン	39.000 トン	100.0 %		
			トン	トン			搬出先2 有限会社 英環境サービス	公共 民間	3	熊本県熊本市南区近見8-10-63	4:3:1:0:4	2:0:km	5	17.100 トン	17.100 トン	トン	%		
	金属くず	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%		
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%		
	廃塩化ビニル管 ・継手	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%		
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%		
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管 ・継手を除く)	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%		
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%		
	廃石膏ボード	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%		
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%		
	紙くず	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%		
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%		
建設 発生土	灰土 (飛散性)	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%		
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%		
	その他の分別 された廃棄物	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%		
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%		
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン					搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%		
							搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%		
	第一種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		
							搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		
	第二種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		
							搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		
	第三種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		
							搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		
	第四種 建設発生土	341.160 地山m ³	0.000 地山m ³	0.000 地山m ³			搬出先1 有限会社 本田産業	公共 民間	1	熊本県玉名市三ツ川管浦1454	4:3:2:0:6	1:8:km	6	341.160 地山m ³	0.000地山m ³	341.160 地山m ³	100.0 %		
							搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		
建設 発生土	浚渫土以外の泥土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		
							搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		
	浚渫土 (建設汚泥を除く)	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		
							搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		
	合 計	341.160 地山m ³	0.000 地山m ³	0.000 地山m ³										341.160 地山m ³	0.000 地山m ³	341.160 地山m ³	100.0 %		

コード*10
1.路盤材
3.埋戻し材
4.その他

コード*11
1.焼却
3.天日乾燥
4.その他

コード*12
施工条件について
1.指定利用等A
(発注時に発注者から搬出先を指定されたもの)
2.指定利用等B
(発注時には発注者から指定されていないが、発注後に設計変更し、発注者から搬出先を指定されたもの)
3.自由処分
(発注者から搬出先が指定されないもの)

コード*13
【建設廃棄物の場合】
1.売却
2.他の工事現場
3.広域認定制度による処理
4.中間処理施設(アスファルト合材プラント)
5.中間処理施設(合材プラント以外の再資源化施設)
6.中間処理施設(サーマルリサイクル)
7.中間処理施設(単純焼却)
8.廃棄物最終処分場(海面処分場)
9.廃棄物最終処分場(内陸処分場)

【建設発生土の場合】
8,9,12,13へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。
7.ストックヤード(工事予定地含む)再利用の目的がある
(国登録ストックヤード以外)
8.ストックヤード(工事予定地含む)再利用の目的がない(国登録ストックヤード)
9.ストックヤード(工事予定地含む)再利用の目的がない(国登録ストックヤード以外)
4.土質改良プラント(国登録ストックヤード)
5.土質改良プラント(国登録ストックヤード以外)
6.ストックヤード(工事予定地含む)
再利用の目的がある(国登録ストックヤード)
10.採石場・砂利採取跡地等復旧事業
11.廃棄物最終処分場(覆土としての受入)
12.廃棄物最終処分場(覆土以外の受入)
13.土捨て場・残土処分場

注記
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

様式 1・イ 再生資源利用計画書 - 建設資材搬入工事用 - 「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第 1 1 条通知別表」対応版

1. 工事概要

発注機関名	熊本市 上下水道局	発注機関コード*1 431023	発注担当者チェック欄		法人番号	7330001001899										
			担当者	西原太陽	請負会社名	三愛建設工業株式会社										
			TEL	096-381-6117	建設業許可 または 解体工事業登録	熊本県 大臣 知事	特定008941号	請負会社コード*2 81000								
				会社所在地	熊本県 熊本市西区 小島9丁目18番36号					TEL	096-329-3331					
											Email	hirashima@sanai-kk.jp				
								記入年月日		令和 7年 8月 28日						
								工事責任者		平島祐次						
								調査票記入者		平島祐次						

表面

工 事 名	都市計画事業 大和広住汚水幹線枝線外下水道築造工事（ 5 3 3 8 工区				工事種別コード*3 H	請負金額	千 百 十 千 百 十 億 億 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 6393 万円 （税込み）		左記金額のうち特定建設資材廃棄物の 再資源化等に要した費用 千 百 十 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 万円 （税込み）	
工事施工場所	熊本 都 道 熊本市北 市 区 植木町滴水				住所コード*4 43105	工 期	令和 7 年 8 月 20 日から 令和 8 年 3 月 17 日まで		再資源化等が完了した年月日 年 月 日	
工事概要等	施工条件の内容 （再生資源の利用に関する特記事項等）						建築・解体工事のみ 右欄に記入して下さい			

2. 建設資材利用計画

建 設 資 材 （新材を含む全体の利用状況）					左記のうち、再生資材の利用状況		（再生資材を利用した場合に記入してください）					再生資源	
分 類	小分類 コード*5	規 格	主な利用用途 コード*6	利 用 量（A） 小数点第三位まで	再生資材の名称 コード*7	再生資材利用量（B） 小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*8	施工条件 内容 コード*9	再生資材の供給元場所住所	住所コード *4	利用率 B/A×100	
特定建設資材	コンクリート			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
		合 計		トン		トン						%	
	コンクリート 及び鉄から成 る建設資材			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
		合 計		トン		トン						%	
	木 材			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
		合 計		トン		トン						%	
	アスファルト ・コンクリート			トン		トン						%	
				トン		トン						%	
		合 計		トン		トン						%	
その他の建設資材	土 砂			締めm3		締めm3						%	
				締めm3		締めm3						%	
		合 計		締めm3		締めm3						%	
	砕 石	1	40mm	1	9.270 m3	1	6.489 m3	嘉島産業株式会社 宇土リサイクルセンター	4	1	熊本県上益城郡嘉島町上島2788-2	43442	70.0 %
		2	40mm	2	16.170 m3	2	11.319 m3	嘉島産業株式会社 宇土リサイクルセンター	4	1	熊本県宇土市網津町糠塚1902-4	43211	70.0 %
		合 計		m3		m3							%
	塩化ビニル管 ・継手			トン		トン							%
				トン		トン							%
		合 計		トン		トン							%
	石膏ボード			トン		トン							%
				トン		トン							%
		合 計		トン		トン							%
	その他の 建設資材			トン		トン							%
				トン		トン							%
		合 計		トン		トン							%

コード*5
コンクリートについて
1. 生コン（バージン骨材）
2. 再生生コン（C o 再生骨材 H）
3. 再生生コン（C o 再生骨材 M）
4. 再生生コン（C o 再生骨材 L）
5. 再生生コン（その他再生材）
6. 無筋コンクリート二次製品（リ-ス品）
7. 無筋コンクリート二次製品（リ-ス品）
8. 再生無筋コンクリート二次製品（C o 再生骨材）
9. 再生無筋コンクリート二次製品（その他再生材）
10. その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1. 有筋コンクリート二次製品（リ-ス品）
2. 有筋コンクリート二次製品（C o 再生骨材）
3. 再生有筋コンクリート二次製品（C o 再生骨材）
4. 再生有筋コンクリート二次製品（その他再生材）
5. その他
木材について
1. 木材（ボード類を除く）
2. 木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1. 粗粒度アスコン
2. 密粒度アスコン
3. 細粒度アスコン
4. 開粒度アスコン
5. 改質アスコン
6. アスファルトモルタル
7. 加熱アスファルト安定処理路盤材
8. その他
土砂について
1. 第一種建設発生土
2. 第二種建設発生土
3. 第三種建設発生土
4. 第四種建設発生土
5. 浚渫土以外の泥土
6. 浚渫土
7. 土質改良土
8. 建設汚泥処理土
9. 再生コンクリート砂
10. 山砂、山土などの新材（採取土、購入土）
砕石について
1. クラッシャーラン
2. 粒度調整砕石
3. 鉱さい
4. 単粒度砕石
5. ぐり石、割ぐり石、自然石
6. その他
塩化ビニル管・継手について
1. 硬質塩化ビニル管
2. その他
石膏ボードについて
1. 石膏ボード
2. シ-リング石膏ボード
3. 強化石膏ボード
4. 化粧石膏ボード
5. 石膏ラスボード
6. その他
その他の建設資材について
（利用量の多い上位 2 品目を具体的に記入して下さい）

コード*6
アスファルト・コンクリートについて
1. 表層
2. 基層
3. 上層路盤
4. 歩道
5. その他（駐車場舗装、敷地内舗装等）
土砂について
1. 道路路体
2. 路床
3. 河川築堤
4. 構造物等の裏込材、埋戻し
5. 宅地造成
6. 水面埋立
7. ほ場整備（農地整備）
8. その他
砕石について
1. 舗装の下層路盤材
2. 舗装の上層路盤材
3. 構造物の裏込材、基礎材
4. その他
塩化ビニル管・継手について
1. 水道（配水）用
2. 下水道用
3. ケ-ブル用
4. 農業用
5. 設備用
6. その他
石膏ボードについて
1. 壁
2. 天井
3. その他
その他の建設資材について
（利用用途を具体的に記入して下さい）

コード*7
コンクリートについて
1. 再生生コン（C o 再生骨材 H）
2. 再生生コン（C o 再生骨材 M）
3. 再生生コン（C o 再生骨材 L）
4. 再生生コン（その他再生材）
5. 無筋コンクリート二次製品（リ-ス品）
6. 再生無筋コンクリート二次製品（C o 再生骨材）
7. 再生無筋コンクリート二次製品（その他再生材）
8. その他
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1. 有筋コンクリート二次製品（リ-ス品）
2. 再生有筋コンクリート二次製品（C o 再生骨材）
3. 再生有筋コンクリート二次製品（その他再生材）
4. その他
木材について
1. 再生木材（ボード類を除く）
2. 再生木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1. 再生粗粒度アスコン
2. 再生密粒度アスコン
3. 再生細粒度アスコン
4. 再生開粒度アスコン
5. 再生改質アスコン
6. 再生アスファルトモルタル
7. 再生加熱アスファルト安定処理路盤材
8. その他
土砂について
1. 第一種建設発生土
2. 第二種建設発生土
3. 第三種建設発生土
4. 第四種建設発生土
5. 浚渫土以外の泥土
6. 浚渫土
7. 土質改良土
8. 建設汚泥処理土
9. 再生コンクリート砂
砕石について
1. 再生クラッシャーラン
2. 再生粒度調整砕石
3. 鉱さい
4. その他
塩化ビニル管・継手について
1. 再生硬質塩化ビニル管
2. その他
その他の建設資材について
（利用量の多い上位 2 品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい）

コード*8
再生資材の供給元について
1. 現場内利用
2. 他の工事現場（内陸）
3. 他の工事現場（海面）
4. 再資源化施設
5. 土砂ストックヤード
6. その他

コード*9
施工条件について
1. 再生材の利用の指示あり
2. 再生材の利用の指示なし

様式2・ロ

再生資源利用促進計画書 - 建設副産物搬出工事用 -

1. 工事概要 表面（様式1）に必ずご記入下さい

2. 建設副産物搬出計画

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

建設副産物の種類		発生量 (掘削等) = + + 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用 促進率 ----- (%)	
			現場内利用			減量化	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上に わたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかに を 付けて下さい。	施工条件の 内容 コード *12	搬出先場所住所	住所コード *4	運搬距離 千 百 十 km	搬出先 の種類 コード *13	現場外搬出量		うち現場内 改良分 小数点第三位まで		再生資源 利用促進量
			用途 コード *10	利用量 小数点第三位まで	うち現場内 改良分 小数点第三位まで	減量法 コード *11								減量化量 小数点第三位まで	小数点第三位まで			
資材 廃棄物	特定建設 発生木材A (柱、ボードなど木製部材が 廃棄物となったもの)	トン	トン	トン			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン	トン	トン	%	
	建設発生木材B (立木、除根などが 廃棄物となったもの)	トン	トン	トン			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン	トン	トン	%	
	アスファルト・ コンクリート塊	トン	トン	トン			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン	トン	トン	%	
	その他がれき類	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン	トン	トン	%	
建設 廃棄物	建設汚泥	トン	トン	トン		トン	搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン	トン	トン	%	
	金属くず	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	廃塩化ビニル管 ・継手	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	廃プラスチック (廃塩化ビニル管 ・継手を除く)	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	廃石膏ボード	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	紙くず	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	灰土 (飛散性)	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	その他の分別 された廃棄物	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン					搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		トン トン		トン	%	
	建設 発生 土	第一種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%
		第二種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%
		第三種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%
第四種 建設発生土		地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土以外の泥土		地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%	
浚渫土 (建設汚泥を除く)		地山m ³	地山m ³	地山m ³			搬出先1 搬出先2	公共 民間 公共 民間				km km		地山m ³ 地山m ³	地山m ³ 地山m ³	地山m ³	%	
合 計		地山m ³	地山m ³	地山m ³										地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	

コード*10

1. 路盤材
3. 埋戻し材
4. その他

2. 裏込材

コード*11

1. 焼却
3. 天日乾燥
4. その他

2. 脱水

コード*12

施工条件について
1. 指定利用等A
(発注時に発注者から搬出先を指定されたもの)
2. 指定利用等B
(発注時には発注者から指定されていないが、発注後に設計変更し、発注者から搬出先を指定されたもの)
3. 自由処分
(発注者から搬出先が指定されないもの)

コード*13

【建設廃棄物の場合】
1. 売却
2. 他の工事現場
3. 広域認定制度による処理
4. 中間処理施設 (アスファルト合材プラント)
5. 中間処理施設 (合材プラント以外の再資源化施設)
6. 中間処理施設 (サーマルリサイクル)
7. 中間処理施設 (単純焼却)
8. 廃棄物最終処分場 (海面処分場)
9. 廃棄物最終処分場 (内陸処分場)

【建設発生土の場合】 8,9,12,13へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。
1. 売却
2. 他の工事現場 (内陸)
3. 他の工事現場 (海面)
4. 土質改良プラント (国登録ストックヤード)
5. 土質改良プラント (国登録ストックヤード以外)
6. スtockヤード (工事予定地含む) 再利用の目的がある (国登録ストックヤード)
7. スtockヤード (工事予定地含む) 再利用の目的がある (国登録ストックヤード以外)
8. スtockヤード (工事予定地含む) 再利用の目的がない (国登録ストックヤード)
9. スtockヤード (工事予定地含む) 再利用の目的がない (国登録ストックヤード以外)
10. 採石場・砂利採取跡地等復旧事業
11. 廃棄物最終処分場 (覆土としての受入)
12. 廃棄物最終処分場 (覆土以外の受入)
13. 土捨て場・残土処分場

注記)
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。

様式 1・イ

再生資源利用計画書 - 建設資材搬入工事用 -

「建設リサイクルガイドライン」、「建設リサイクル法第 1 1 条通知別表」対応版

1. 工事概要

発注機関名	熊本市 上下水道局	発注機関コード*1 4 3 1 0 2 3	発注担当者チェック欄		法人番号	7 3 3 0 0 0 1 0 0 1 8 9 9																
			担当者	西原太陽	請負会社名	三愛建設工業株式会社																
			TEL	096-381-6117	建設業許可 または 解体工事業登録	熊本県	大臣 知事	特定008941号	請負会社コード*2 8 1 0 0 0													
				会社所在地	熊本県 熊本市西区 小島9丁目18番36号					TEL	096-329-3331					記入年月日	令和 7年 8月 28日					
												Email	hirashima@sanai-kk.jp					工事責任者	平島祐次			
																調査票記入者	平島祐次					

表面

工 事 名	都市計画事業 大和広住汚水幹線枝線外下水道築造工事（ 5 3 3 8 工区				工事種別コード*3 H	請負金額	千 百 十 千 百 十 億 億 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 6 3 9 3 万円 （税込み）				左記金額のうち特定建設資材廃棄物の 再資源化等に要した費用 千 百 十 億 万 万 万 1万円未満四捨五入 万円 （税込み）			
工事施工場所	熊本 都 道 熊本市北 市 区 植木町滴水				住所コード*4 4 3 1 0 5	工 期	令和 7 年 8 月 20 日から 令和 8 年 3 月 17 日まで				再資源化等が完了した年月日 年 月 日			
工事概要等					施工条件の内容 （再生資源の利用に関する特記事項等）					建築・解体工事のみ 右欄に記入して下さい				

解体工事については、建築面積を御記入いただくなくても結構です。

2. 建設資材利用計画

建 設 資 材 （新材を含む全体の利用状況）					左記のうち、再生資材の利用状況							（再生資材を利用した場合に記入してください）				再生資源
分 類	小分類 コード*5	規 格	主な利用用途 コード*6	利 用 量（A） 小数点第三位まで	再生資材の名称 コード*7	再生資材利用量（B） 小数点第三位まで	再生資材の供給元施設、工事等の名称	供給元 種類 コード*8	施工条件 内容 コード*9	再生資材の供給元場所住所				住所コード *4	利用率 B/A×100	
特定建設資材	コンクリート			トン		トン									%	
				トン		トン								%		
		合 計		トン		トン							%			
	コンクリート 及び鉄から成 る建設資材			トン		トン									%	
				トン		トン								%		
		合 計		トン		トン							%			
	木 材			トン		トン									%	
				トン		トン								%		
		合 計		トン		トン							%			
	アスファルト ・コンクリート			トン		トン									%	
				トン		トン								%		
		合 計		トン		トン							%			
その他の建設資材	土 砂			締めm3		締めm3									%	
				締めm3		締めm3							%			
		合 計		締めm3		締めm3						%				
	砕 石	1	RC-40	3	57.380 m3	1	40.166 m3	嘉島産業株式会社 宇土リサイクルセンター	4	1	熊本県上益城郡嘉島町上島2-7-8-8-2	4 3 4 4 2	70.0 %			
		2	2	9.380 m3	2	0.000 m3	0.0 %									
		合 計		m3		m3								%		
	塩化ビニル管 ・継手			トン		トン								%		
				トン		トン							%			
		合 計		トン		トン						%				
	石膏ボード			トン		トン								%		
				トン		トン							%			
		合 計		トン		トン						%				
その他の 建設資材			トン		トン								%			
			トン		トン							%				
	合 計		トン		トン						%					

コード*5

コンクリートについて
1. 生コン（バージン骨材）
3. 再生生コン（C o 再生骨材M）
5. 再生生コン（その他再生材）
7. 無筋コンクリート二次製品（リユース品）
9. 再生無筋コンクリート二次製品（その他再生材）
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1. 有筋コンクリート二次製品（バージン骨材）
3. 再生有筋コンクリート二次製品（Co再生骨材）
木材について
1. 木材（ボード類を除く） 2. 木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1. 粗粒度アスコン 2. 密粒度アスコン 3. 細粒度アスコン
4. 開粒度アスコン 5. 改質アスコン 6. アスファルトモルタル
7. 加熱アスファルト安定処理路盤材 8. その他
土砂について
1. 第一種建設発生土 2. 第二種建設発生土 3. 第三種建設発生土 4. 第四種建設発生土
5. 浚渫土以外の泥土 6. 浚渫土 7. 土質改良土 8. 建設汚泥処理土
9. 再生コンクリート砂 10. 山砂、山土などの新材（採取土、購入土）
砕石について
1. クラッシャーラン 2. 粒度調整砕石 3. 鉱さい 4. 単粒度砕石
5. ぐり石、割ぐり石、自然石 6. その他
塩化ビニル管・継手について
1. 硬質塩化ビニル管 2. その他
石膏ボードについて
1. 石膏ボード 2. シーリング石膏ボード 3. 強化石膏ボード
4. 化粧石膏ボード 5. 石膏ラスボード 6. その他
その他の建設資材について
（利用量の多い上位 2 品目を具体的に記入して下さい）

コード*6

アスファルト・コンクリートについて
1. 表層 2. 基層
3. 上層路盤 4. 歩道
5. その他（駐車場舗装、敷地内舗装等）
土砂について
1. 道路路体 2. 路床 3. 河川築堤
4. 構造物等の裏込材、埋戻し
5. 宅地造成用 6. 水面埋立用
7. ほ場整備（農地整備）
8. その他
砕石について
1. 舗装の下層路盤材 2. 再生密粒度アスコン
3. 舗装の上層路盤材 4. 再生開粒度アスコン
5. 構造物の裏込材、基礎材 6. 再生改質アスコン
7. 再生加熱アスファルト安定処理路盤材 8. その他
塩化ビニル管・継手について
1. 水道（配水）用 2. 下水道用 3. ケブル用
4. 農業用 5. 設備用 6. その他
石膏ボードについて
1. 壁 2. 天井 3. その他
その他の建設資材について
（利用用途を具体的に記入して下さい）

コード*7

コンクリートについて
1. 再生生コン（C o 再生骨材H）
3. 再生生コン（C o 再生骨材L）
5. その他（駐車場舗装、敷地内舗装等）
7. 再生無筋コンクリート二次製品（その他再生材）
コンクリート及び鉄から成る建設資材について
1. 有筋コンクリート二次製品（リユース品）
3. 再生有筋コンクリート二次製品（その他再生材）
木材について
1. 再生木材（ボード類を除く） 2. 再生木質ボード
アスファルト・コンクリートについて
1. 再生粗粒度アスコン 2. 再生密粒度アスコン
3. 再生細粒度アスコン 4. 再生開粒度アスコン
5. 再生改質アスコン 6. 再生アスファルトモルタル
7. 再生加熱アスファルト安定処理路盤材 8. その他
土砂について
1. 第一種建設発生土 2. 第二種建設発生土 3. 第三種建設発生土
4. 第四種建設発生土 5. 浚渫土以外の泥土 6. 浚渫土
7. 土質改良土 8. 建設汚泥処理土 9. 再生コンクリート砂
砕石について
1. 再生クラッシャーラン 2. 再生粒度調整砕石 3. 鉱さい 4. その他
塩化ビニル管・継手について
1. 再生硬質塩化ビニル管 2. その他
その他の建設資材について
（利用量の多い上位 2 品目の再生資材名称を具体的に記入して下さい）

コード*8

再生資材の供給元について
1. 現場内利用
2. 他の工事現場（内陸）
3. 他の工事現場（海面）
4. 再資源化施設
5. 土砂ストックヤード
6. その他

コード*9

施工条件について
1. 再生材の利用の指示あり
2. 再生材の利用の指示なし

様式2・ロ

再生資源利用促進計画書 - 建設副産物搬出工事用 -

1. 工事概要 表面（様式1）に必ずご記入下さい

2. 建設副産物搬出計画

建築工事において、解体と新築工事を一体的に施工する場合は、解体分と新築分の数量を区分し、それぞれ別に様式を作成して下さい。

裏面

建設副産物の種類		発生量 (掘削等) = + + 小数点第三位まで	現場内利用・減量				現場外搬出について										再生資源利用 促進率 ----- (%)		
			現場内利用			減量化	搬出先名称 2ヶ所まで記入できます。3ヶ所以上に わたる時は、用紙を換えて下さい。	区分 どちらかに を 付けて下さい。	施工条件の 内容 コード*12	搬出先場所住所	住所コード *4	運搬距離 千 百 十 km	搬出先 の種類 コード *13	現場外搬出量 小数点第三位まで	うち現場内 改良分 小数点第三位まで	再生資源 利用促進量			
			用途 コード *10	利用量 小数点第三位まで	うち現場内 改良分 小数点第三位まで	減量法 コード *11												減量化量 小数点第三位まで	
資材 廃棄物	特定建設 発生物	コンクリート塊	トン	トン	トン				搬出先1	公共 民間				km		トン	トン	トン	%
		建設発生木材A (柱、ボードなど木製部材が 廃棄物となったもの)	トン	トン	トン				搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
		アスファルト・ コンクリート塊	トン	トン	トン				搬出先1	公共 民間				km		トン	トン	トン	%
			トン	トン	トン				搬出先2	公共 民間				km		トン	トン	トン	%
建設 廃棄物		その他がれき類	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
			トン						搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
		建設発生木材B (立木、除根などが 廃棄物となったもの)	トン	トン	トン				搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
			トン	トン	トン				搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
		建設汚泥	トン	トン	トン		トン		搬出先1	公共 民間				km		トン	トン	トン	%
			トン	トン	トン				搬出先2	公共 民間				km		トン	トン	トン	%
		金属くず	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
			トン						搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
		廃塩化ビニル管 ・継手	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
			トン						搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
		廃プラスチック (廃塩化ビニル管 ・継手を除く)	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
			トン						搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
		廃石膏ボード	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
			トン						搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
		紙くず	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
			トン						搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
建設 発生 土		灰土 (飛散性)	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
			トン						搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
		その他の分別 された廃棄物	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
			トン						搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
		混合状態の廃棄物 (建設混合廃棄物)	トン						搬出先1	公共 民間				km		トン		トン	%
			トン						搬出先2	公共 民間				km		トン		トン	%
		第一種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³				搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
			地山m ³	地山m ³	地山m ³				搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
		第二種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³				搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
			地山m ³	地山m ³	地山m ³				搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%
	第三種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³				搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
		地山m ³	地山m ³	地山m ³				搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	第四種 建設発生土	地山m ³	地山m ³	地山m ³				搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
		地山m ³	地山m ³	地山m ³				搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	浚渫土以外の泥土	地山m ³	地山m ³	地山m ³				搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
		地山m ³	地山m ³	地山m ³				搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	浚渫土 (建設汚泥を除く)	地山m ³	地山m ³	地山m ³				搬出先1	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
		地山m ³	地山m ³	地山m ³				搬出先2	公共 民間				km		地山m ³	地山m ³	地山m ³	%	
	合 計	地山m ³	地山m ³	地山m ³										地山m ³	地山m ³	地山m ³	%		

コード*10

1. 路盤材
3. 埋戻し材
4. その他

2. 裏込材

コード*11

1. 焼却
3. 天日乾燥
4. その他

2. 脱水

コード*12

施工条件について
1. 指定利用等A
(発注時に発注者から搬出先を指定されたもの)
2. 指定利用等B
(発注時には発注者から指定されていないが、発注後に設計変更し、発注者から搬出先を指定されたもの)
3. 自由処分
(発注者から搬出先が指定されないもの)

コード*13

【建設廃棄物の場合】
1. 売却
2. 他の工事現場
3. 広域認定制度による処理
4. 中間処理施設 (アスファルト合材プラント)
5. 中間処理施設 (合材プラント以外の再資源化施設)
6. 中間処理施設 (サーマルリサイクル)
7. 中間処理施設 (単純焼却)
8. 廃棄物最終処分場 (海面処分場)
9. 廃棄物最終処分場 (内陸処分場)

【建設発生土の場合】 8,9,12,13へ搬出した場合は、有効利用とみなされません。
1. 売却
2. 他の工事現場 (内陸)
3. 他の工事現場 (海面)
4. 土質改良プラント (国登録ストックヤード)
5. 土質改良プラント (国登録ストックヤード以外)
6. スtockヤード (工事予定地含む) 再利用の目的がある (国登録ストックヤード)
7. スtockヤード (工事予定地含む) 再利用の目的がある (国登録ストックヤード以外)
8. スtockヤード (工事予定地含む) 再利用の目的がない (国登録ストックヤード)
9. スtockヤード (工事予定地含む) 再利用の目的がない (国登録ストックヤード以外)
10. 採石場・砂利採取跡地等復旧事業
11. 廃棄物最終処分場 (覆土としての受入)
12. 廃棄物最終処分場 (覆土以外の受入)
13. 土捨て場・残土処分場

注記)
・一般廃棄物は記入しないで下さい。
・土壌汚染対策法に基づき処理する土壌は記入しないで下さい。